

令和6年度 渋川小学校 学校だより

令和7年1月31日



かしの木 第16号



1月から通常給食になりました

給食センターの改装があり、これまで「お弁当給食」で対応していただきました。一人一人のおかずがお弁当のように準備されていた給食も、センターの改装終了に伴い、今月から、従来の配膳方式の給食に切り替わりました。

何と云っても魅力は、温かい食事になったということです。

お弁当給食には無かった汁物やカレーといったおかずが出てきて、子ども達はとてもうれしそうです。また、「〇〇給食」(中学生リクエスト、会津地区 etc)といったコンセプトやテーマのある給食にも魅力を感じているようです。

食の楽しさやおいしさを感じながら、自分の体や健康についても、ますます関心をもってもらえるとうれしいです。



「おいしい!」「おかわりありますか?」嬉しそうに食べる子ども達。保健師さんも子ども達の配膳、食事の様子を見に来て下さいました。

※渋川小学校では今後も引き続き、「食育」に力を入れていきたいと考えています。

「おにー そとー!」



2月2日は節分です。

季節の変わり目。これから少しずつ春に向けて暖かくなっていくのだと感じます。

各ご家庭でも、豆まきはされますか?

渋川小学校では、来週月曜日に豆まき集会を予定しています。

昔から大事にされてきた年中行事。「ヒイラギ」の意味や「豆をまく」意味など、そこに込められた人々の思いにも触れながら、日本の伝統・文化を大切に作る気持ちを育てていきたいと思ひます。



※職員玄関にはヒイラギの木が飾られています。少しでも季節や年中行事を感じてほしいという遠藤さんの計らいです。



子ども達が退治したい鬼は、「イライラ鬼」「怒り鬼」「早起きできない鬼」「物を散らかす鬼」など様々な鬼がいるようです。

〈渋川コミュニティ・スクール〉-1月30日 なわとび記録会-

朝から雪の舞う寒い1日でした。
体育館もかなり冷え込んでいました。
それでも、多くの保護者の方に来校いただき、なわとび記録会を行うことができました。
(お忙しい中、応援ありがとうございました)

これまで体育科の授業はもちろん、休み時間や登校後など、時間を見つけながら、それぞれ目標をもって練習に取り組んできた子ども達。

当日の表情を見ても、「新記録を出したい!」「1回でも多く、1秒でも長く跳びたい」という熱い思いが伝わり、寒さや冷え込みとは裏腹に、体育館全体が一種異様な熱気に包まれている…と感じました。

後ろ跳びやあや跳び、交差跳び。中には、二重跳びや二重あや(はやぶさ)など難しい技でも、軽々と跳べるようになっている子ども達の姿が見られ、驚きました。

また、長縄跳びでは、クラス全員で息を合わせ、リズム良く気持ちよさそうに跳び続ける姿が見られました。

いろいろな技に挑戦する楽しさ。やればやっただけ記録が伸びる面白さ。リズム良く体を動かす心地よさ。そして、跳び終わった後に感じるすがすがしさや、体力増進・健康促進を実感できる気持ちよさ。

今後も、時間を見つけ、継続的に取り組ませていきたいと思います。



校長の独り言



ここ数日、穏やかな日が続いていたが、ここに来て、また寒波の到来。雪が降り、雪が舞い、白の世界が広がる。「雪…」。憂鬱な気持ちに喝を入れ、己を奮い立たせて、いざ立哨指導へ!

職員玄関を出て、児童昇降口を見ると…。なんと、そこにはもう6年生のAさんの姿が! あいさつ運動の担当ということで、寒さ厳しい中、他の子ども達の登校を待って来ていたのだ。

「おはよう」とあいさつを交わし、雪かき用の雪スコップを持って、立哨指導へいざ出発!

しようとする…。サササッとかけ寄ってくれたAさん。

そして、一言。「雪かき手伝います!」(感動!)

手がかじかみ、耳がちぎれるような厳しい寒さだったが、献身的にみんなのために働こうというAさんの思いに、心の中はとても温かくポカポカに! なんと心の中の美しさ!

でもでも…。嬉しいのはそれで終わりではなかった。その後の話もあった。

私は立哨指導でその場を離れてしまったのでわからなかったのだが、先生方から聞いた話では、登校した5、6年生がランド缶を置き、協力して雪かきをやってくれたということだった。

「やらされる活動ではなく、自分(達)で考えた行動」

やってもらうのを待つのではなく、学校のために何ができるのかを考え、行動に移してくれた子ども達。即席「雪かき部」の行動力と輪の広がり、渋川の未来を感じた。素晴らしい!

話を聞いてあまりにも嬉しくなり、自分もなんとなく、だれかのために何かをしたいなあと、駐車場にある教頭先生の車のワイパーをそっと立ててみた。